



家が一番！～ときどき入院、ほぼ在宅～

今回は普段、自宅など住み慣れた環境で過ごし、必要に応じて入院し十分な支援のもとですみやかに在宅復帰して頂く「ときどき入院、ほぼ在宅」という考え方を紹介します。

レスパイトとは「休息」「息抜き」「一時休止」という意味があり、レスパイト入院とは、ご家族などの休息のために介護が必要な方が一時的に入院できる制度です。

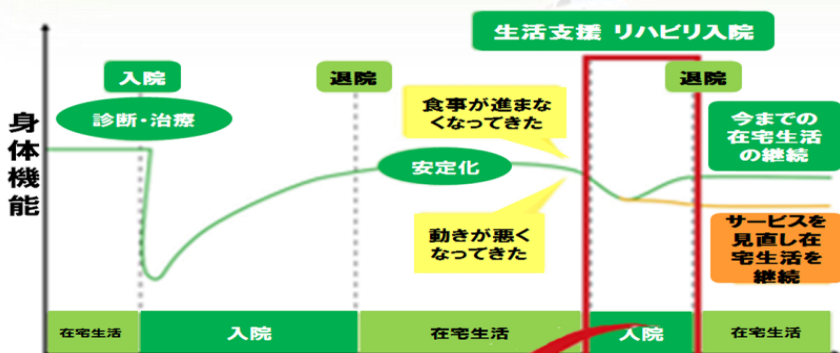
「自宅でできるだけ過ごししてもらいたい。」「家族で介護をしてあげたい。」「という思いはあるが、時間が拘束され心身ともに疲れやすストレスを感じて体を壊すケースがあります。自宅で介護を続けていくためには、介護する側が休息する時間やリフレッシュする機会を持つことが大切です。介護する側も介護を受ける側も、出来る限りストレスが少なく穏やかに笑顔で過ごせると良いですね！

レスパイト入院？



リハビリ入院？

生活支援リハビリ入院は、在宅で療養生活をされている方が、体調悪化や心身機能の低下、介護負担の増加など在宅療養が難しくなった時に、一時的に入院してリハビリテーションを行います。



全身状態を確認しながら、個々の目標に合わせたリハビリテーションメニューを組み合わせて提供します。

対象者
・体力低下や介護量増加
・入院前と同じ生活へ戻りたい
・在宅サービスの調整・見直ししたい

①集中リハビリテーション型

対象者
・体力や今ある機能を維持したい

④機能維持型

対象者
・食事が進まない
・体重が減ってきた

②リハビリテーション栄養型

対象者
・最近むせること多い
・食事に時間がかかる

③摂食・嚥下リハビリテーション型

その他、血糖コントロールを目的とした入院もあり施設入所とは違つかたちで、介護されるご家族などを支援していく方法があります。
詳しくは、一度ケアマネジャーにご相談下さい。



地域ケアセンターランチ「家族交流会」を開催！



今回の家族交流会では、奥様を介護されている男性介護者同士、普段思っていることなどをお話し下さいました。男性介護者のお二人は認知症のこととよく理解しておられ「頭では分かっているけど腹が立つことがある、怒ってしまい、後で反省する…」と話されていました。

そして、ご夫婦の思い出話の途中で「最期くらいは、こっちの言ってる事が分かってくれたらええのにな・・・」とぼつんと言われ、理由をお聞きすると「今まで、ありがとうって伝えたいやん。どんな時もあるけれど、これからも出来る限り一緒に居たい」と照れくさそうにお話下さいました。その言葉に相手はいたわる気持ちを教えて頂いた素敵な時間でした。



今までの交流会で様々な介護者の方にご参加を頂きましたが、皆さんが共通して話されていることは「自分一人で溜め込まずに誰かに聞いてもらう」でした。「誰かと話すことで気持ちに楽になったり、少しだけ気持ちの整理ができることもあります。」

そんなお言葉に交流会の意義を感じ、これからも続けていこうと思いました。



作

品

紹

介

サテライト 入所ご利用者様



リンゴのメモ付きスタンド

作者の一言

「見るだけでなく、メモを挟んで使えるのでうれしいです。」

鴻池荘 入所ご利用者様



雛飾り（折り紙）

作者の一言

「折り紙の貼りつけは大変だったけど、可愛い作品が出来ました。」



- 秋津ホームヘルプステーション
- 御所訪問看護ステーション
- 鴻池荘訪問リハビリテーション
- 鴻池会居宅介護支援事業所
- 鴻池荘在宅介護支援センター

日曜・祝日でもご相談下さい
0745-64-2062

URL <http://www.kounoikekai.com>
mail houmon@kounoikekai.com

